

令和 7 年 8 月 5 日
上下水道事業審議会
下水道保全課

埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けた 北九州市独自の点検結果について(報告)

令和 7 年 1 月 28 日に埼玉県八潮市内において下水道管の破損に起因する
と考えられる道路陥没が起き、トラック 1 台が巻き込まれるとともに、
約 120 万人に下水道の使用自粛が呼びかけられるなど、大きな影響が
発生した。

この事故を受け、「市民の安全・安心」の確保を図るため、直径 2m 以上の
下水道管の一部を対象に地中レーダーを活用した独自点検を実施してきたが、
この度、点検結果がまとまったため、お知らせするもの。

1 点検期間

- ・ 令和 7 年 2 月 4 日～4 月 30 日

2 対象施設

- ・ 北九州市が管理する直径 2m 以上の下水道管のうち、
 - ① 浄化センターに接続する耐用年数 50 年を経過した管
 - ② 腐食の恐れが大きい管に該当する約 5km の管が埋設されている道路

3 点検方法

- ・ 地中レーダーを搭載した空洞探査車両を使用し実施

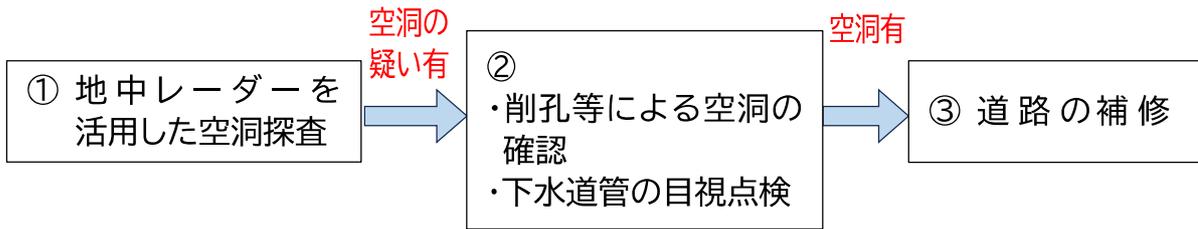
4 点検結果と対応

- ・ 下水道管の破損に起因する空洞は確認されなかった
- ・ 雨水の影響などが原因と想定される小規模な空洞を複数確認
- ・ 点検結果については、道路管理者（都市整備局）と情報共有するとともに、
区役所のまちづくり整備課に依頼し、5 月上旬までに全て補修を完了

5 今後の取組

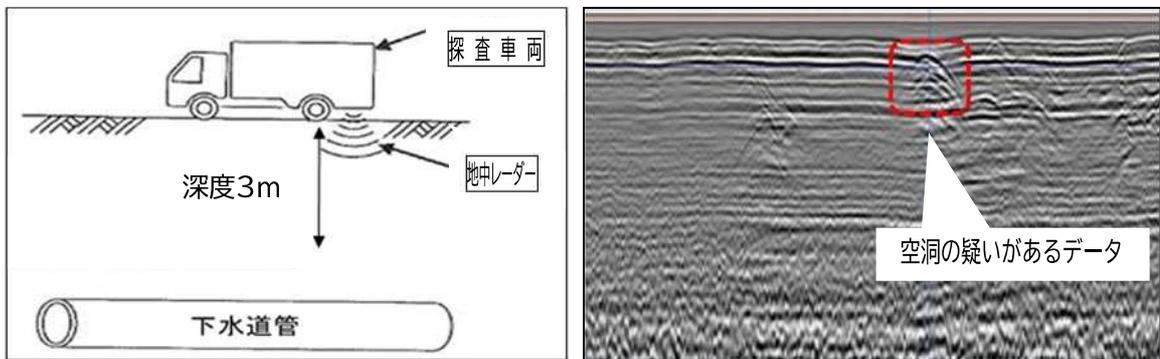
- ・ 今後、下水道管は急速な老朽化が見込まれているため、高速で鮮明な撮影が
可能なカメラやドローン、AI などの新技術も活用しながら点検を効率化し、
引き続き、リスクの高い箇所への更新に取り組む

○地中レーダーを活用した独自点検の流れ



<① 地中レーダーを活用した空洞探査>

- ・ 直径2m以上の下水道管の一部(約 5 km)が埋設されている道路に、地中レーダーを搭載した探査車両からレーダー(電磁波)を照射し反射波を解析することで、空洞の疑いがある箇所を検知を行う



空洞探査イメージ

<② 削孔等による空洞の確認>

- ・ 空洞の疑いがある箇所を対象に、道路に直接穴をあけ空洞の有無を確認するとともに、下水道管の目視点検を実施



削孔による空洞の確認イメージ
(削孔後、カメラで空洞確認)

<③ 道路の補修>

- ・ 空洞が確認された箇所については、道路を掘削し土砂などで埋め戻す